

「新学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上等の方策に関する調査研究」取組状況(その2)

「新学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上等の方策に関する調査研究」の推進校としての取組について、前号では宇部市立琴芝小学校と岩国市立川下小学校を紹介しました。

今回は、山口市立德佐小学校と下関市立長府中学校の2校の取組を紹介します。

山口市立德佐小学校

[<http://www.yamaguchi-ygc.ed.jp/tokusa-e/index.html>]

1 特徴的な取組について

〈中間発表会から 1年説明文の学習〉

◆多様で豊かな言語活動の充実を通して、自己表現できる子どもを育てる
～国語科の授業づくりにおいて～

○子どもに付けたい力を明確にする

- ・子どもの実態を把握し、年間指導計画に付けたい力を明確に示す。
- ・年間指導計画の単元のねらいに応じて、指導事項を洗い出す。

○付けたい力に合った言語活動を仕組む

- ・単元全体を貫く言語活動を組織し、言語活動を通して指導事項を指導できるようにする。
- ・学習過程を明確にし、子どもが目的意識をもって学習に取り組めるようにする。



・公開授業から

1年「じどう車くらべ」

- ①付けたい力
 - ・説明文の仕組みを知る。
 - ・簡単な文章構成を考え、説明文を書く。
- ②言語活動の充実
 - ・図鑑づくりを、単元を通した活動として位置付ける。
 - ・保育園児に図鑑を紹介するという課題をもたせる。

4年「アップとルズで伝える」

- ①付けたい力
 - ・段落相互の関係に注意して、文章を書く。
 - ・文章全体の構成と段落相互の関係を理解する。
- ②言語活動の充実
 - ・「仕事リーフレット」を作り、取材でお世話になった人に渡すことを活動目標にする。

5年「大造じんさんとがん」

- ①付けたい力
 - ・人物の心情変化や情景描写を読み取り、作品世界を自分なりにとらえる。
- ②言語活動の充実
 - ・「自分なりの朗読をつくる」ことを活動目標に設定する。
 - ・保護者に、自分の朗読を発表する場を設ける。

2 取組の様子について

中間発表会には、山口市内小・中学校の教務主任や研修主任を含め、約百名の先生方の参加がありました。講師には、文部科学省から水戸部修治教科調査官を招聘し、新学習指導要領の趣旨に沿った取組を価値付けていただきました。

国語科における言語活動の充実の4原則「①付けたい力の見極め→②付けたい力にぴったりの言語活動の選定→③単元全体を貫く言語活動の位置付け→④児童の主体的思考・判断の重視」を、徳佐小の先生方と子どもたちの姿から学ぶことができました。

・国語科における言語活動の充実

下 関 市 立 長 府 中 学 校 [http://www.chofu-j.ed.jp/]

1 特徴的な取組について

◆学び合いのある学習活動の工夫を通じて、自他を大切にし、将来の夢や希望もてる生徒を育成する

〈学び合う授業場面〉

○学び合いのある学習活動とは

- ・生徒が自発的に教え合う活動のある授業
- ・生徒が意見を言い合って、認識がせり上がる授業

○学び合いのある学習活動を作るために

- ・生徒に「問い」を起こさせるための**妥当性**のある発問を工夫する。
- ・教材の本質に迫るための**真実性**のある中心発問を工夫する。
- ・生徒が行う、追究のための**活動性**のある発問を工夫する。

○互見授業による教師の学び合い

- ・授業提供者は、職員朝礼で簡単な説明を行い、学び合いのある学習活動場面を、50分授業のどのあたりに仕組むかについて伝えておく。
- ・参観する時間を15分間に限定し、参観者は、授業の気づきを見学カードに記入して教務主任に提出する。

○学び合いを生む教具の工夫

- ・小集団学習用のホワイトボードを各学年15枚準備する。
- ・生徒の意見を把握し、問題点を視覚化するために、生徒全員分のマグネット付のネームプレートを用意する。

2 取組の様子について

互見授業の見学カードや授業の事後検討会での視点を、「学び合い」「授業技術への着目・気づき」「生徒の多面的理解」に設定することで、教科の枠を越えて、議論し合えるような工夫が見られます。また、日常的に授業を見合うことができるように、時間と場面を限定した授業公開を行うなど、教務主任や研修主任の先生を中心に、意欲的な取組がたくさん見られ、落ち着いた雰囲気で行われています。



〈ホワイトボードの活用〉



・ 学び合いのある授業

・ 日常的に授業を公開し合う「互見授業」

・ 読書習慣の定着

2011 (第65 回) 「読書週間」の取組例紹介 その2

◆校内放送での「あらすじクイズ」

- ・本のあらすじをヒントに本の題名を当てるクイズをお昼の放送で流す。低・中・高別に問題を作り、解答用紙を全員に配付し回収する。

◆「3色読書」

- ・3分類以上の図書を読むことにチャレンジし、幅広く読書ができるようにする。

◆企画展「先生たちの伝え合い！この本読んで！」

- ・先生おすすめの図書の紹介・展示と貸出を行う。

〈読み聞かせ用の手作りグッズ〉

